

● 事例紹介 ●

博士号保有教員の特別選考について

～ 高校生の「飛躍」を期待して～

内田 広之

(秋田県教育庁 高校教育課長)

本県は、根岸均教育長が掲げる揺るぎのない『教育立県』の確立という目標の達成のため、様々な教育施策を展開してきている。本稿では、こうした施策の一つである博士号所有者の教員採用(今年度新たに六名採用、教員免許の有無問わず)について、その意義や特色について述べる。

○本県の高校教育の実情と博士号保有者の採用に至った経緯

まず、本県の教育の実情について説明したい。

四三年ぶりに実施された昨年度の全国学力・学習状況調

査において、本県は、義務教育レベルで全国トップレベルの成果を収め、義務教育段階の児童生徒が高い基礎学力を誇っていることが数値の上で証明された。

さて、高校教育はどうかというと、良い面と課題となっている面の両側面がある。良い面としては、高校卒業者に占める国公立大学進学者の割合は、全国で一〇番台前半という位置にあるとともに、就職決定率、中退防止率、校内暴力発生防止率、専門高校からの国公立大学の合格率などは、全国的に上位(例年、概ね全国一〜五位)にある。こうしたことから、「学力」や「生きる力」という側面での裾野の広さは窺える。他方において、課題となっている

博士号取得教員授業風景



↑化学の授業で実験の指導
(大館鳳鳴高校)



↑総合的な学習の時間で「探求」の授業
(横手清陵学院高校) (下2枚)

を作ったり、液体窒素を用いて、冷凍したドジョウが水の中で再び泳ぎだす実験をしたりしながら、将来、実験科学者になろうと自覚されたという。本県の生徒には、こうした経験をしたいと願っている。

このような意図に加え、博士号保有教員の授業は、文科系の生徒にとっても、知的好奇心を高めるきっかけになると考えている。ノーベル賞受賞者・野依良治さんは、これからの日本が発展していくためには、文科系の生徒が最低

限の科学知識を持つことが極めて重要であると説いている。また、数学者の秋山仁さんは、自分の専門分野以外のことがどれくらいできるかによって、人間としての幅の広さが決まる、とも述べられている。この点は、各界各層の多くの有識者が指摘するところである。ありとあらゆる分野へ進む生徒のためになって欲しいと考えている。

今般、博士号保有教員として新たに採用された六名は、各地区の拠点となる高校に配置され、初任者研修と並行し

面としては、一般に成績上位層の約三分の一が受験する大
学入試センター試験の平均点数や難関大学の合格者数は、
全国的に下位に位置している。

こうした現況を評して、県内の市町村教育長会議などは、「平均層は極めて厚いが、上位層のレベルが薄く、これからは、社会を引っ張っていかうという『高い志』ある生徒を意図的に育てていかなければならない」といった意見が出されている。

現状を打破しようとする一つの動きは、秋田県主催の「発展戦略会議」における議論であった。この会議は、秋田県にゆかりのある有識者が、既存の枠にとらわれないで、秋田県への政策提言を行おうという趣旨の会議だが、同会議において、委員の一人から、学校での博士号保有教員の採用が提言された。それが具体化のきっかけになった。

今般の博士号保有者特別選考の概要等は、次の通りである。

採用者数 常勤五名、非常勤一名
受験者数 五七名(国内…北海道から長崎まで、外国…米国、台湾)
募集分野 理学、農学、工学、教育学(心理学を含む)

一次合格者数 一八名
採用分野 理学(生物二名、物理二名)、工学(電気一名)、化学(非常勤一名)
出身地 秋田県二名、宮城県一名、埼玉県一名、東京都一名、台湾一名
配属高校 大館鳳鳴高校(一名)、秋田高校(一名)、横手清陵学院(二名)、大曲農業高校(一名)
業務範囲 右記所属高校を中心としながら、近隣の高校や中学でも授業

○博士号保有教員の採用の概要とねらい

博士号保有教員には、生徒がビックリしたり、はっとしたりするような、面白い仕掛けのある実験や講話を行ってほしい。一人でも多くの生徒に「ホンモノ」の世界を体感し、学問の面白さ、深さを知って欲しいと願っている。

一つ事例的に紹介させていただきたいが、日本人初の宇宙飛行士・毛利衛さんは、高校時代に、様々な実験装置に心を躍らせていたという。例えば、硫酸と砂糖が酸化反応で爆発する仕組みに着目して、火山爆発の模型装置

特集・ポストドクター支援

ながら、授業を開始している。各教員の専門の研究分野は、ゲノム、宇宙論、ブラックホール、DNA、素粒子、モーター、希土類元素など多彩である。本県から、ノーベル賞受賞者や世界の第一線で活躍する人材が輩出されていくことを心から期待しているところである。

なお、平成二一年度の採用試験等の概要は、次の通りである。

採用人数 若干名

募集分野 昨年度と同様

試験内容 書類選考及び面接試験

書類受付期間 平成二〇年五月一三日～
五月三〇日

第一次発表（書類審査） 平成二〇年八月二日

第二次試験 平成二〇年九月一二日

最終合格発表日 平成二〇年一〇月九日

問合せ先・要項請求先…秋田県教育庁高校教育課管理班

電話 〇一八（八六〇）五二六四